

JS-RW5シリーズ

(JS-RW5004/RW5008/RW5016)

4K対応PoE給電方式
4ch / 8ch / 16ch
ネットワークビデオレコーダ

簡易マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

安全上の注意事項

製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。

警告 指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある場合。

設置について

- ・ 設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線はご遠慮願います。
異常発熱や火災、感電の原因となります。
- ・ 本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。
異常作動により火災や感電、けがの原因となります。
- ・ 停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作つてご使用ください。
火災、感電、けがの原因となります。
- ・ カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。
火災、感電、けがの原因となります。
- ・ 本機の後面には接続のための端子が突出しているため壁に近すぎるところに設置すると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。
火災、感電、けがの原因となります。
- ・ 温度が高すぎるところ(40℃以上)や低いところ(5℃以下)、湿度の高いところには設置しないでください。
火災の原因となります。
- ・ 湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。
感電、火災の原因となります。
- ・ 直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。
火災が発生する恐れがあります。
- ・ 設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず

乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について

- ・ 本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具と一緒に使用しないでください。
異常発熱や火災、感電の原因となります。
- ・ 電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。
火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- ・ 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。
- ・ アース(接地)は確実に行なう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

警告 本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

使用について

- ・ 製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。
故障、火災の原因となります。
- ・ 異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。
- ・ 電池は製造者が指定した同一型番または同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。
爆発の恐れがあります。
- ・ 湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。

指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について

- ・ 強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。
磁石類や電波、振動のないところに設置してください。
- ・ 水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。
機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人けがをさせたりする恐れがあります。
- ・ 密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。
周辺の環境要素による故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。
- ・ ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。

- ・ 強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について

- ・ 製品の上に重い物を置かないでください。
故障の原因となります。
- ・ 通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。
故障の原因となります。
- ・ 製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・ 製品前面の録画LEDが点滅し続いている場合、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。
録画LEDが点滅し続いているかどうか隨時確認してください。
- ・ HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。
- ・ とくにシステム稼動中は、振動や衝撃を与えないでください。
デジタルレコーダはハードディスクドライブに録画データを保存しています。ハードディスクはわずか数ミクロンの隙間にディスクが高速で回転しており、システム稼動中に振動や衝撃を与えるとハードディスクが損傷し、デジタルレコーダが起動しなくなったり、録画データが読み出せなくなったりします。
- ・ 内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。
約30,000時間(この時間は部品の性能を保証するものではありません)を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。
- ・ 製品の動作状態を隨時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

付属品の確認

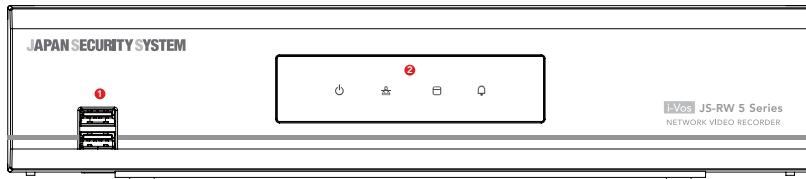
製品の梱包を開けて、下記の部品がすべて含まれているか確認してください。

項目		
ネットワークビデオレコーダ	電源ケーブル/電源アダプタ(12V, 48V)	簡易マニュアル
ハードディスク固定用ねじ	遠隔プログラム／製品のマニュアルCD	マウス
保証書		

<input checked="" type="checkbox"/>	CD-ROMには次の各種取扱説明書(PDFファイル)、ソフトウェア等が収められています。
	【取扱説明書】設置運用マニュアル(js-rw5004・5008・5016_im・om_verX.XX.pdf)
	【取扱説明書】簡易マニュアル(js-rw5004・5008・5016_qg_verX.XX.pdf)
	【取扱説明書】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf)
	【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS)
	※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。

各部分の名称

前面パネル



<input checked="" type="checkbox"/>	① USB端子	<input checked="" type="checkbox"/>	② LED								
-------------------------------------	---------	-------------------------------------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

- 本マニュアルは4、8、16チャンネルネットワークビデオレコーダです。マニュアル上の図や説明は16チャンネルを基準として作成されています。

① USB端子

・ HDD接続

USB端子にUSB外付けハードディスクやフラッシュメモリを接続してバックアップに使用することができます。外付けハードディスクはなるべくNVRに近いところで接続してください。通常180cmを超えないケーブルで接続することをお勧めします。外付けハードディスクと一緒に提供されたUSBケーブルでNVRのUSB端子に接続してください。ビデオバックアップに関する内容は、**設置運用マニュアルのバックアップ**を参照ください。

・ 外部機器の接続(マウス等)

USB端子にUSBマウスを接続することができます。また、USB ⇄シリアルコンバータを接続し、テキストインデバイスをいくつか接続するのに使用できます。



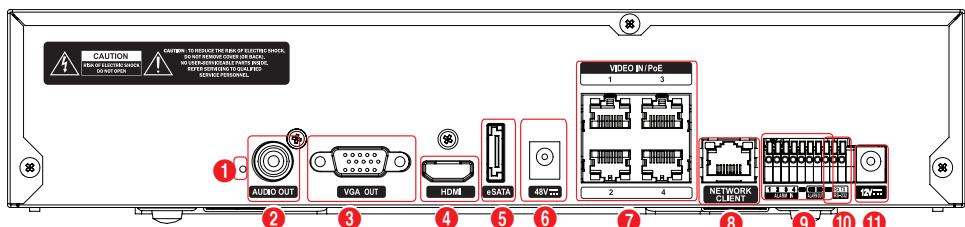
USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

② LED

- 電源LED: 本体が動作中に点灯します。
- ネットワークLED: 本機はイーサネットによりネットワークから接続されているときに点滅します。
- HDD LED: ハードディスクに映像を保存したり、保存された映像を検索したりするときに点滅します。
- ALARM LED: アラームイベントが発生すると、赤いLEDが点灯します。

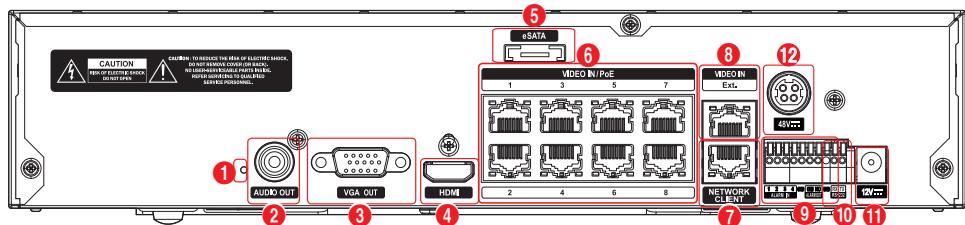
後面パネル

4チャンネル



①	ファクトリーリセットボタン	②	オーディオ出力端子	③	VGA出力端子	④	HDMI出力端子
⑤	eSATA端子	⑥	48V 電源入力端子	⑦	カメラ入力・PoE端子	⑧	ネットワーク端子
⑨	アラーム接続端子	⑩	RS232端子	⑪	12V 電源入力端子		

8/16チャンネル

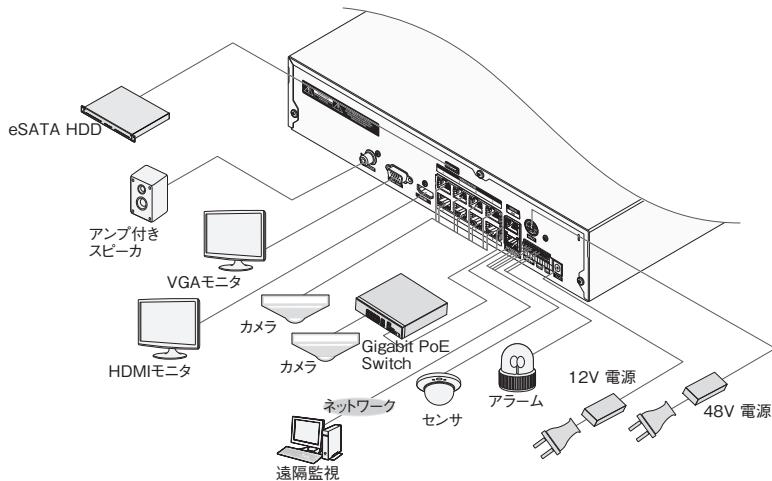


①	ファクトリーリセットボタン	②	オーディオ出力端子	③	VGA出力端子	④	HDMI出力端子
⑤	eSATA端子	⑥	カメラ入力・PoE端子	⑦	ネットワーク端子	⑧	ビデオ入力・拡張端子
⑨	アラーム接続端子	⑩	RS232端子	⑪	12V 電源入力端子	⑫	48V 電源入力端子



後面パネルの各端子の接続に関する詳しい内容は取扱説明書(設置運用マニュアル)をお読みください。

背面パネルの接続図



設置

パスワード設定

- 1 システムを初めて稼働する場合、adminユーザー アカウントのパスワード設定が求められます。



- ✓ • 工場出荷初期パスワードはありません。
- 初回ログイン時に運用パスワード登録が必ず必要です。パスワードなしでシステムを使用することはできません。
- 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- 電子メールアドレスとUPRファイルはパスワード紛失の際に確認用の情報として使用することがあります。当該情報を正確に入力しなかったり任意の情報が入力された場合、パスワードを探せない場合もあります。
- 電子メールアドレスの設定 あるいは UPR のエクスポートいづれかを行わないと、決定ボタンが押せません。

- ✓ • パスワードは、8~16文字で英大文字、英小文字、数字、特殊記号の内、3種類以上の文字の組み合わせが必要です。
(例：jA38v2c4、a1#sb32)
- 次の文字列は使用できません。
*IDと同じ文字列
*3文字以上の連続した数字が含まれる 文字列 (例：123、321)
*3文字以上の連続した英字が含まれる 文字列 (例：abc、cba、aBC)
*3文字以上の文字が繰り返されている 文字列 (例：111、aaa、aAA)

ウィザード実行

- ✓ • 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューの「ウィザード」メニューから実行できます。
- ウィザード実行段階に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、次へボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



簡単設定ウィザード

・日付/時刻設定

変更された日付/時刻の設定値は、次へをクリックすると適用されます。



・録画方式設定



・録画画質設定

高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。



・コーデック方式設定



ネットワークウィザード

- ✓ クイック設定ウィザードが完了した後にネットワーク設定へをクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めるこどもできます。

・ インターネット接続確認



・ LAN設定

テストを完了しないと、次の段階には進めません。



・ UCN設定

UCNサーバに登録されるNVRの名前をデバイス名に入力した後、確認をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



カメラ登録

セットアップウィザードが完了すると、リアルタイム監視モード画面が表示されます。マウスを右クリックし、[カメラ登録]を選択すると、NVRに接続されているカメラをスキャンして登録あるいは削除ができるカメラ登録モードに入ることができます。

- ✓ 本製品は、当社JSSプロトコル、JSS2プロトコルのカメラ接続運用を基本としています。

カメラ登録モードの実行

リアルタイム監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、カメラ登録をクリックしてください。



スキャンボタン(カメラ検索ボタン)

自動で検出できなかったカメラも、いろいろな方法で検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。

- 再スキャン:自動的に検出できなかったJSS2プロトコルのカメラを検出することができます。
- 指定カメラに移動:カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラに自動的に移動します。
- 検索範囲:検索範囲の設定によってカメラリストエリアに存在するカメラをフィルタリングすることができます。
- 画面自動配置:検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するときに使用されます。
- 拡張スキャン:自動スキャンに対応しないカメラを手動で検出します。
- プロトコル:検索したいカメラのプロトコルを選択してください。
 - NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えないかもしれません。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、代理店までお問い合わせください。
 - 本システムは当社製カメラとの組合せに最適化されています。他社のカメラを登録すると、Video設定がシステムの性能を超える場合、録画性能が保証できず、特定の機能が制約される場合があります。この場合、設定変更により、最適化した性能を発揮できるように変更してください。

- モード:検索モードを選択してください。
- カメラリスト:カメラの情報ファイル(.csv)を利用し、ユーザーがより簡単にカメラを登録することができます。
- 検索更新周期:カメラ検索の更新周期を設定します。更新周期を短く設定すると、カメラ検索結果のアップデートがより頻繁に更新されます。更新周期を長く設定すると、広いネットワーク網でのカメラ検索が可能です。

カメラ表示メニュー

- ・ 整列 ボタン: 映像出力エリアに表示されるカメラの画面をビデオイン端子に接続されたカメラの位置の順に再整列します。
- ・ リセット ボタン: カメラ映像出力画面およびカメラリストエリアに表記されているすべてのカメラを初期化して再スキャンします。
- ・ ピットレート ボタン: 各チャンネルの性能割り当てを変更することができます。
- ・ ツール ボタン: カメラ関連の動作を実行することができるネットワークカメラのツールウィンドウが表示され、カメラの認証、画面配置およびプロトコルを変更することができます。

カメラリストエリア

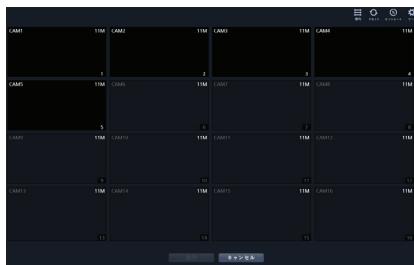
カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

- ・ カメラ追加/削除: リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- ・ 認証: カメラにログインするための情報を入力します。自動で検索され、パスワード不要なカメラは省略されます。
- ・ 情報: カメラの情報(製品名、バージョン、MACアドレス、IPアドレスなど)と接続ポートを表示します。

映像出力エリア

映像出力エリアでマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示を切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして表示位置を調整することができます。



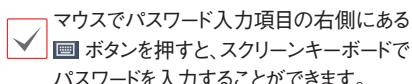
ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- 1 監視モードで、マウスを右クリックしてログインをクリックしてください。



- 2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。



- 3 ログアウトするには、マウスを右クリックしてログアウトをクリックしてください。



適用/キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、適用ボタンを押してください。

適用ボタンを押すと、メッセージウィンドウが表示され、実行するか、しないかを選択できます。

キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。

他のNVRに登録されているカメラは登録できません。

パスワード探し

パスワードを忘れた場合パスワード探しボタンを押すと、新しいパスワードが設定できます。

- 1 ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールアドレスを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。UPR(User Password Reset)認証方法を使う場合、UPR認証方法を選択してください。

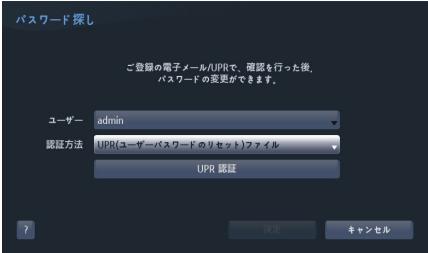


- 2 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。

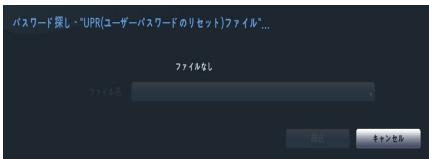


- 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールを利用して使用するためには、SSL / TLSに対応するメールサーバを使用できるように設定する必要があります。

- 3 UPR(User Password Reset)認証を入力し、UPR認証ボタンを押してください。



- 4 事前に保存したUPR(User Password Reset)ファイルを選択して読みボタンを押してください。



基本機能

リアルタイム監視

カメラの登録が完了すると、リアルタイム監視モードに入ります。リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面右端に近づけると、画面右側にリアルタイム監視メニューが表示されます。各メニューの上でマウスのボタンを押すと、メニューを選択することができます。

ビデオ録画

監視映像を録画します。録画に関する詳しい内容は取扱説明書(設置運用マニュアル)をお読みください。

緊急録画機能

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画 ! アイコンを選択すると、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画 ! アイコンを選択してください。録画設定>一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。

- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定>一般で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

⚠ 録画モードが上書き状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録音

録画設定>一般でオーディオ録音設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。

-  設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。

保存された映像の再生

マウスを使用して、映像を再生することができます。

全チャンネル再生

- リアルタイム監視モードで、マウスで画面右端メニュー検索を選択してください。
- 検索モード ▶ アイコンを選択し、**タイムラプス検索**、**イベントログ検索**または**サムネイル検索**を選択してください。
- タイムラプス検索**、**イベントログ検索**または**サムネイル検索**に切り替わります。

WEB Client 2

WEB Client 2はインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。ウェブブラウザ(Google ChromeあるいはMicrosoft Edge)を用いて簡単に接続できます。

WEB Client 2を実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

- OS** : Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)、Microsoft® Windows® 11
- CPU** : Intel Pentium IV 2.4GHz以上 (Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM** : 1GB以上(2GB推奨)
- VGA** : 128MB以上(1280x1024、24bpp以上)
- Microsoft Edge** : 98.0.1108.43以上
- Chrome** : GoogleChrome 22.0.1229.0以上 (59.xxx以上推奨)

- ウェブブラウザを実行してからアドレス入力欄へ以下の情報を入力してください。
 - “http://IPアドレス：ポート番号”(DVRシステムIPアドレス及びネットワーク - WEB Client 2設定から設定したWEB Client 2接続ポート番号(デフォルト値: 12088)入力)
 - 或いは“http://UCNサーバアドレス/UCN名”(UCNサーバアドレス及びUCNサーバへ登録されたDVR名入力)



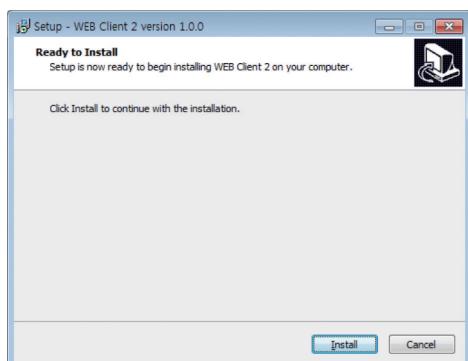
- 接続するDVRのIPアドレス及びWEB Client 2のポート番号はネットワーク管理者へお問い合わせください。

- 初めてWEB Client 2を使用する場合、「インストールが必要です」の画面が表示されます。

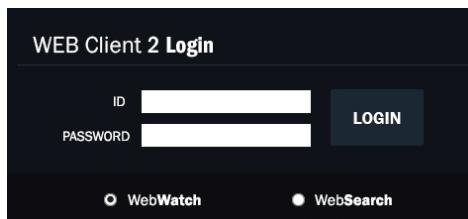
- 次の画面が表示されたら、ボタンをクリックして「installCWG_Jss.exe」ファイルをダウンロードします。



- ダウンロードしたファイルのあるフォルダまで移動してから、installCWG_Jss.exeファイルを実行します。



- WEB Client 2のログイン画面が出たら、“WebWatch”(ウェブ監視)または“WebSearch”(ウェブ検索)を選択します。ID及びパスワードを入力して[LOGIN]ボタンをクリックすると選択したモードに接続されます。





- Microsoft® Windows®では映像伝送速度の低下によりWEB Client 2のスクリーンの画面が表示されなかったり、更新しなかったりする恐れがあります。本症状の場合は、ご使用のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。
- 管理者権限でコマンドプロンプト実行（“スタート”メニュー ➔ “すべてのプログラム” ➔ “コマンドプロンプト” ➔ マウスの右ボタンを利用し、“管理者として実行”選択）。“netsh int tcp set global autotuninglevel=disable”を入力してからENTERキーを押してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。
- オート－チューニング機能を再度復旧するために管理者権限でコマンドプロンプトを実行してから “netsh int tcp set global autotuninglevel=normal” を入力してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。

JSS遠隔監視システム

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 (64bit) (Home, Professional) Windows® Server2016 以上	
CPU	Intel® Core™ i7-12700K 3.6GHz以上	Intel® Core™ i3-2100 以上
RAM	16GB以上	2GB以上
VGA	NVIDIA® GeForce® GTX1060、 Quadro P2000以上 (1920×1080または 2560×1440 60Hz)	NVIDIA® GeForce® GT710 (1280×1024, 60Hz) または Intel® HD Graphic530 以上
HDD	6GB以上の空き容量SDD	4GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	100Mbps Ethernet 以上

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Microsoft® Windows®スタートメニューのコントロールパネルに移動し、電源オプションでモニタ節電機能とハードディスク節電機能を使用しないに設定してください。

- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDのSetupのフォルダの下にあるsetup.exeファイルを実行します。
- 3 Microsoft® Windows® でユーザー帳票が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。
- 4 インストール画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
- 5 プログラムがインストールされる経路を指定した後、次ボタンをクリックします。
- 6 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。

Microsoft® Windows® でユーザー帳票が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- 7 NET FrameworkとVisual C++Runtime Librariesが自動的にインストールされます。インストール時、時間が少々掛かる場合があります。
ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。
- 8 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

JSS遠隔監視システムソフトウェアをインストールするとデスクトップにJSS遠隔監視システムのジャンプアイコンが生成されます。JSS遠隔監視システムのジャンプアイコンをダブルクリックしてJSS遠隔監視システムプログラムを実行します。

ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



- **IDを保存します**: この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
 - **最後監視セッション復元**: 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。
- ✓ • 使用者IDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

デバイスの登録

JSS遠隔監視システムで提供する機能を使用するためには、まずJSS遠隔監視システムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

1 システムメニュー > JSS遠隔監視システム設定 > デバイスを選択します。



2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 検索モードを選択した後、検索開始ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- 4 デバイス検索画面の下段のデバイス登録ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウインドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、確認ボタンを押してください。



- 6 サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、サイトパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイスグループの追加画面が表示されます。



- **名前**: デバイスグループの名前を入力します。
- **場所**: 該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある選択されたデバイスリスト欄に追加されます。確認ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

- 7 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、デバイスグループの左側

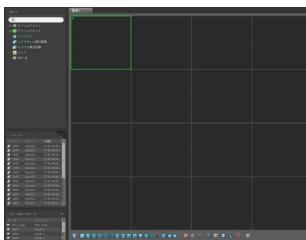
の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、**サイト**パネルの下段にある ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正**画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

JSS遠隔監視-モバイル 2



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN(WiFi)を使用することをお勧めします。携帯会社のインターネットで接続する場合、課金されることがあります。

Androidのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAndroid Playストア(Google Play) アプリケーションを実行してください。
- 2 Playストア(Google Play)アプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

iOSのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAppストア  アプリケーションを実行してください。
- 2 Appストアアプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の  デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



ローカル
を検索



QR コード



アドレス



UCN



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

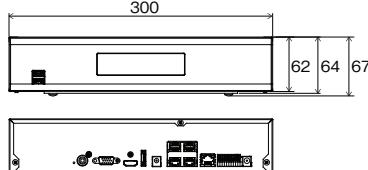
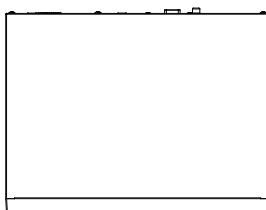
JS-RW5004

仕様

ビデオ	ビデオ入力	4ch
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF(Profile S、ver22.12) ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
	ビデオ出力	HDMI (Ver.1.4b) : × 1、VGA: × 1
	最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔)	160Mbps (40+70+50)
	ディスプレイ解像度	3840 × 2160、1920 × 1200、1920 × 1080、1680 × 1050、1600 × 1200
	最大ディスプレイ速度	最大 120ips
録画	最大ディスプレイ処理能力	40Mbps、120ips@ フル HD、30ips@UHD
	最大処理能力	70Mbps、120ips@UHD
	最大録画解像度	12MP (ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.265、H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、ブリイベント、パニック
	性能	4ch synchronous playback
	検索モード	タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ、テキストイン、サムネイル
保存	HDD	内蔵: 4TB (標準) / 10TB / 20TB (最大)
	バックアップ	USB 記録装置 (USB HDD、USB メモリなど)
	RAID	—
ネットワーク	本体内蔵 PoE カメラポート	Fast Ethernet (IP Camera) × 4
	外部 Video ポート	—
	クライアント接続ポート	Gigabit Ethernet (Client) × 1
	転送速度	50Mbps / 100Mbps (BRP Mode)
	PoE 電源供給能力	PoE (IEEE802.3at class4) 4ports、30W
インターフェース	イベントアラーム	Email (添付ファイル (.cbf, .mp4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)
	オーディオ入力 / 出力	Local (NVR) : - / 1RCA+1HDMI IP Camera:4 / 4 (カメラに依る)
	アラーム入力	4TTL, NC/NO programmable, 3.0V(NC) or 0.3V(NO) threshold, DC 5V/IP Camera4 (カメラに依る)
	アラーム出力	1 接点出力 (NO)、2A@AC 125V、1A@DC 30V / IP Camera4 (カメラに依る)
	アラームリセット入力	—
	内蔵ブザー	有り
	シリアルインターフェース	RS232 (Terminal Block)、eSATA × 1
一般	USB 端子	USB2.0 × 1、USB3.0 × 1
	外形寸法	約 300 (幅) × 62 (高) × 231 (奥) mm ※突起物含まず
	質量	約 2,200g (HDD1 個装着時)
	使用温度範囲	0 ~ 40°C (湿度 90% 未満 ※結露しないこと)
	電源 / 消費電力	12V電源アダプタ(本体電源用):Input:100-240V~、50/60Hz、1.5A Output:DC12V、5A 48V電源アダプタ(PoE電源用):Input:100-240V~、50/60Hz、1.2A Output:DC48V、1A 12V電源アダプタ(本体電源用):DC12V-2.2A 最大26.4W ※10TB HDD2台搭載時 48V電源アダプタ(PoE電源用):DC48V-0.6A 最大30.72W
	同梱物	NVR本体×1、電源ケーブル/電源アダプタ(12V、48V)、簡易マニュアル×1、マウス、遠隔プログラム/製品マニュアルCD、ハードディスク固定用ネジ、保証書

外形寸法図

単位: mm



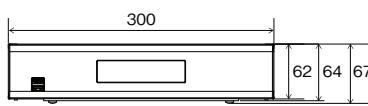
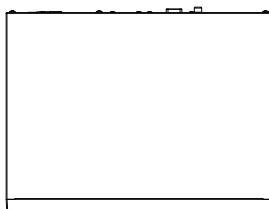
JS-RW5008

仕様

ビデオ	ビデオ入力	8ch
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF(Profile S、ver22.12) ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
	ビデオ出力	HDMI (Ver.1.4b) : × 1、VGA: × 1
	最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔)	270Mbps (80+140+50)
	ディスプレイ解像度	3840 × 2160、1920 × 1200、1920 × 1080、1680 × 1050、1600 × 1200
	最大ディスプレイ速度	最大 240ips
録画	最大ディスプレイ処理能力	80Mbps、240ips@ フル HD、90ips@UHD
	最大処理能力	140Mbps、240ips@UHD
	最大録画解像度	12MP (ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.265、H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、ブリイベント、パニック
	性能	8ch synchronous playback
	検索モード	タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ、テキストイン、サムネイル
保存	HDD	内蔵: 4TB (標準) / 10TB / 20TB (最大)
	バックアップ	USB 記録装置 (USB HDD、USB メモリなど)
	RAID	—
ネットワーク	本体内蔵 PoE カメラポート	Fast Ethernet (IP Camera) × 8
	外部 Video ポート	Gigabit Ethernet (Ext) × 1
	クライアント接続ポート	Gigabit Ethernet (Client) × 1
	転送速度	50Mbps / 100Mbps (BRP Mode)
	PoE 電源供給能力	PoE (IEEE802.3at class4) 8ports、50W
インターフェース	イベントアラーム	Email (添付ファイル (.cbf, .mp4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)
	オーディオ入力 / 出力	Local (NVR) : - / 1RCA+1HDMI IP Camera:8 / 8 (カメラに依る)
	アラーム入力	4TTL、NC/NO programmable. 3.0V(NC) or 0.3V(NO) threshold. DC 5V/IP Camera8 (カメラに依る)
	アラーム出力	1 接点出力 (NO)、2A@AC 125V、1A@DC 30V / IP Camera8 (カメラに依る)
	アラームリセット入力	—
一般	内蔵ブザー	有り
	シリアルインターフェース	RS232 (Terminal Block)、eSATA × 1
	USB 端子	USB2.0 × 1、USB3.0 × 1
	外形寸法	約 300 (幅) × 62 (高) × 231 (奥) mm ※突起物含まず
電源 / 消費電力	質量	約 2,300g (HDD1 個装着時)
	使用温度範囲	0 ~ 40°C (湿度 90% 未満 ※結露しないこと)
	電源 / 消費電力	12V電源アダプタ(本体電源用):Input:100-240V~、50/60Hz、1.5A Output:DC12V、5A 48V電源アダプタ(PoE電源用):Input:100-240V~、50/60Hz、1.2A Output:DC48V、1.35A 12V電源アダプタ(本体電源用):DC12V・2.2A 最大26.4W ※10TB HDD2台搭載時 48V電源アダプタ(PoE電源用):DC48V・1.05A 最大50.4W
	同梱物	NVR本体×1、電源ケーブル/電源アダプタ(12V、48V)、簡易マニュアル×1、マウス、遠隔プログラム/製品マニュアルCD、ハードディスク固定用ネジ、保証書

外形寸法図

単位: mm

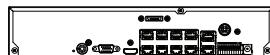
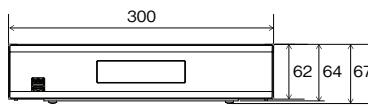
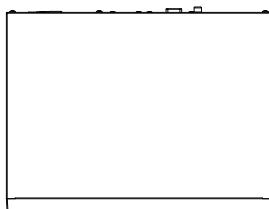


仕様

ビデオ	ビデオ入力	16ch
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF(Profile S、ver22.12) ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
	ビデオ出力	HDMI (Ver.1.4b) : × 1、VGA: × 1
	最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔)	320Mbps (90+180+50)
	ディスプレイ解像度	3840 × 2160、1920 × 1200、1920 × 1080、1680 × 1050、1600 × 1200
	最大ディスプレイ速度	最大 480ips
録画	最大ディスプレイ処理能力	90Mbps、360ips@ フル HD、90ips@UHD
	最大処理能力	180Mbps、480ips@UHD
	最大録画解像度	12MP (ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.265、H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、ブリイベント、バニック
	性能	16ch synchronous playback
	検索モード	タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ、テキストイン、サムネイル
保存	HDD	内蔵: 4TB (標準) / 10TB / 20TB (最大)
	バックアップ	USB 記録装置 (USB HDD、USB メモリなど)
	RAID	—
ネットワーク	本体内蔵 PoE カメラポート	Fast Ethernet (IP Camera) × 8
	外部 Video ポート	Gigabit Ethernet (Ext) × 1
	クライアント接続ポート	Gigabit Ethernet (Client) × 1
	転送速度	50Mbps / 100Mbps (BRP Mode)
	PoE 電源供給能力	PoE (IEEE802.3at class4) 8ports、50W
インターフェース	イベントアラーム	Email (添付ファイル (.cbf、.mp4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)
	オーディオ入力 / 出力	Local (NVR) : - / 1RCA+1HDMI IP Camera:16 / 16 (カメラに依る)
	アラーム入力	4TTL、NC/NO programmable, 3.0V(NC) or 0.3V(NO) threshold, DC 5V/IP Camera16(カメラに依る)
	アラーム出力	1 接点出力 (NO)、2A@AC 125V、1A@DC 30V / IP Camera16 (カメラに依る)
	アラームリセット入力	—
一般	内蔵ブザー	有り
	シリアルインターフェース	RS232 (Terminal Block)、eSATA × 1
	USB 端子	USB2.0 × 1、USB3.0 × 1
一般	外形寸法	約 300 (幅) × 62 (高) × 231 (奥) mm ※突起物含まず
	質量	約 2,300g (HDD1 個装着時)
	使用温度範囲	0 ~ 40°C (湿度 90% 未満 ※結露しないこと)
	電源 / 消費電力	12V電源アダプタ(本体電源用):Input:100-240V~, 50/60Hz, 1.5A Output:DC12V, 5A 48V電源アダプタ(PoE電源用):Input:100-240V~, 50/60Hz, 1.2A Output:DC48V, 1.35A 12V電源アダプタ(本体電源用):DC12V・2.2A 最大26.4W ※10TB HDD2台搭載時 48V電源アダプタ(DC48V):DC48V・1.05A 最大50.4W
	同梱物	NVR本体×1、電源ケーブル/電源アダプタ(12V・48V)、簡易マニュアル×1、マウス、遠隔プログラム/製品マニュアルCD、ハードディスク固定用ネジ、保証書

外形寸法図

単位: mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番（4K対応PoE給電方式 4ch / 8ch / 16ch ネットワークビデオレコーダー [JS-RW5004 / JS-RW5008 / JS-RW5016]）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。 本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。